

---

## 川口市立上青木南小学校における 『地域安全マップ』作製の支援について

2019年12月9日(月)に立正大学の小宮信夫教授等の協力を得て、川口市立上青木南小学校の4年生、76名を対象に『地域安全マップ』作製を支援いたしました。

『地域安全マップ』作製は、1日の中で、講義、街歩き、マップ作製、発表等を通じて、楽しみながら子供たちが自ら「危険な場所」を知り（気づく能力が付き）、日々の行動（通学や遊び）に活かし、犯罪から身を守ることを目的としており、今回で第11回目の実施となります。

当金庫は、「街づくり」「人づくり」等が地域貢献であるとの認識のもと、「地域の子供たちの安全」を願い、今後とも継続して実施する予定です。

### 記

1. 日時 2019年12月9日(月)
  2. 学校名 川口市立上青木南小学校
  3. 対象学年 4年生
  4. 人数 76名
  5. 協力体制 川口市立上青木南小学校、保護者等の方々  
立正大学 小宮信夫教授、立正大学の学生1名、地域安全マップ協会1名、  
青木信用金庫北支店職員及び本部職員13名
  6. スケジュール

10:40~10:50	開会式
10:50~11:40	講義 立正大学の小宮教授が、4年生に講義を行いました。危険な場所は、犯罪者が『入りやすく』周囲の大人から『見えにくい』場所。様々な事例を2つの絵を見比べて考えさせるクイズなどで分かりやすく、そのキーワードを伝えました。
10:40~12:40	フィールドワーク 班別(1班9~10名)に地域を歩き、講義で学んだ危険な場所を探しながら、写真を撮り、近隣の方にインタビューをしました。各班には、指導員と、交通安全の確保のためご協力いただいた保護者等が同行しました。
12:40~13:30	(昼食等)
-

- 
- 13:30～14:50 マップの作製、発表の準備  
模造紙に地域の地図を描き、フィールドワークで撮影した写真に、キーワードを使って自ら書いたコメントを貼り付けて、マップを作製しました。
- 14:50～15:15 発表会  
班ごとにリーダーが、マップを作製した感想を発表しました。「いつも通っている場所に危険な場所があることが分かった」、「これからは教わったキーワードに注意していきたい」等の感想もあり、危険な場所に対する意識を高めることができました。
- 15:15～15:25 閉会式

以上

◆写真で見る地域安全マップ◆

(川口市立上青木南小学校)

2019年12月9日(月)



■小宮教授による講義

犯罪の起きやすい危険な場所は、中に『入りやすく』、周りから『見えにくい』場所です。

小宮教授からの質問にも、みんな元気よく手を挙げて答えました。



■マップの作製

模造紙に簡単な地図を描いて、フィールドワークで撮影した写真を貼って、自分たちでコメントを書きました。



■フィールドワーク

講義で学んだ『危険な場所』はないか、実際に班ごとに地域を歩きました。



■発表の様子

班ごとに作製したマップを手に、感想を発表しました。